様式第７号の１

釜石市立唐丹小学校

教育的価値	具　体　の　項　目	教育課程
３【そなえる】	⑲【災害時における情報の収集・活用・伝達】 震災津波の被害による教訓をもとに、情報の大切さ、情報の収集選択・判断、発信の方法等について理解し、活用できるようにする。	総合的な学習の時間

【題材】

『伝えよう！震災から学んだこと』

～笹間第二小学校との交流学習を通して～

【対象】

釜石市立唐丹小学校５・６年２２名

笹間第二小学校全校児童２０名

【実践の概要・詳細】

震災に関する地域の状況を調べること、自分の体験、災害へのそなえ、まちづくりへの願い等について他校と交流を図り情報の伝達を行った。

旧唐丹小の桜

【実践の内容】

《交流会》平成２６年８月２６日（火）

１　開会の言葉

２　笹間第二小学校児童会長挨拶

３　唐丹小学校執行部より

４　笹間第二小学校

～一輪車発表～

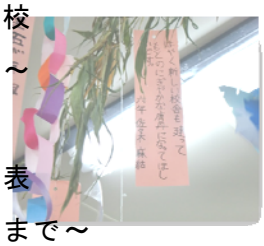
５　唐丹小学校

～プレゼン発表

被災から現在まで～

感謝の合唱

６　閉会の言葉



『唐丹小発表プレゼンより』

２０１１年３月１１日１４：４６に起きた大きな地震と津波によって私たちの学校は大きな被害を受けました。これは２日後の３月１３日に撮影した体育館の様子です。

私たちは地震が起きるとすぐに校庭に避難し、そこから近くの高台に登って無事に助かることができました。それから、スクールバスや地域の方々の軽トラなどに乗せてもらって公民館に避難し，そこで一夜を過ごしました。

私達の住む唐丹町の桜並木は多くの人が訪れる桜の名所です。小学校にも桜が植えられていましたが，傷ついたり，枝が折れたりしながら，残った２本の木がきれいな花を咲かせました。私たちの勇気のシンボルとなりました。これは学校再開から４日後の写真です。この校舎は今は解体されてなくなっています。

被災した体育館

避難した高台から見下ろした地域

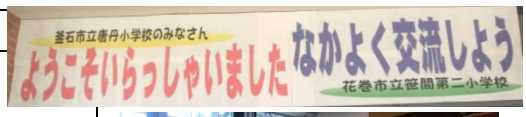
唐丹小学校では、毎年７月、支援してくださった方々に感謝の気持ちを伝える七夕集会を行うことにしました。感謝の気持ちや，復興への願い，将来の願い事を短冊や手紙に書くとともに，自分達にできることを考えるよい機会にしています。

これまでの皆さんのご支援に感謝しています。おかげさまで私たち唐丹小学校６０名はみんな元気です。新しい校舎も３年後には完成する予定です。

私たちの笑顔が地域を明るくすることを信じて，これからもがんばります。本当にありがとうございました。

【授業の展開】

主な段階	主な学習活動
第1次 学習のねらいを知り、学習の見通しをもつ。	1 震災時、自分が経験したことをまとめ、単元の見通しをもつ。
第2次 地域の様子や避難行動について調べ、伝えたいことをまとめ交流会を行う。	2 震災による地域の状況や災害のそなえ等について調べ交流学習で伝えたいことをまとめる。 3 プレゼンを完成し、発表練習する。 4 交流会を行う。
第3次 単元の学習を振り返る	5 単元の学習を振り返り、交流会後の自分の考えをまとめたり、まちづくりへの願いを考えたりする。 6 学校新聞や個人新聞にまとめ、地域に発信する。



平成26年　10月29日　釜石市立唐丹小学校 学校新聞　第204号

光る海、二鉄、笑顔

はぐくむ

戻ってきた唐丹

東日本大震災から三年七ヶ月がたちました。私たちの唐丹小学校も頑張ってきています。

そこで、広報委員会では、「唐丹が復興してきたと感じるのは、どんな時ですか。」について、全校のみなさんにアンケートをとることにしました。

その結果、左のようになりました。きれいな海を見た時と答えた人が三十七人。

で一位でした。次は、十九人で、三鉄が開通した時、続いて新しい建物や道路を見た時が十三人で、旧グランドで運動会などをした時が十人。みんなの笑顔を見た時が七人でした。その他の答えが十四人という結果になりました。

九月十七日釜石大他の陸上記録会がありました。一ヶ月も前から、練習してきていたので、みんな実力をつけていました。つらくても、手を抜かず、頑張ってきました。

当日朝、バスの中で、ミーティングをしている時に、すごくみんなの意気込みが伝わってきました。全ストスパートをして頑張りました。友達が入賞したら、四～六年みんなで祝福し喜び合いました。

唐丹は、入賞は少ないが、笹持ちではどの学校にも負けていませんでした。これからも全力で、活動に取り組みます。

ラストスパート

このように、唐丹小学校の児童はみんな、自分達の唐丹が、大大大大好きです。これからも、きれいな唐丹の海を大切にして、優しい心の三陸鉄道を大切にして、自分達の唐丹グランドを大切にして自然豊かな唐丹を自分達の力で、守り続けていき、震災を風化させないように、こんな恐いことがあったんだということを、伝えていきたいです。そして、もっと唐丹をいい所にしたいです。

八月二十六日に、八年代表で、笹間第二小学校に交流に行ってきました。唐丹小学校は、二年前から復興支援のお礼で行っています。五、六年代表で、笹間の小学校と交流しています。自分達の復興の取り組みを発表するために、何度も何度も、プレゼンの練習をしました。笹間第二小の児童は全校で二十人。それでもみんな、元気にくらしています。全校が一輪車に乗れます。とても上手に乗るので、おどろきました。

特にも、六年生は、でか輪というとっても高い一輪車に乗っていました。一年生も一輪車に乗れていました。

必死に練習したプレゼンテーションもみなさんが真剣に聞いてくれました。私達の、復興にかける思いや、たくさんの友への感謝を伝えることができたと思います。

笹間第二小学校の人たちは、とてもやさしくて、仲良くなれてうれしかったです。

笹間のみなさん、ありがとう。

そしてまた会いましょう。

ありがとう笹間

十月十八日に唐丹小学校の学習発表会が行われました。今年のスローガンは、「感動六十一人の友情と笑顔をむねに」でした。

五、六年生は、戦争げき、夏服の少女たち」を演じました。戦争の悪さんさと、平和げきで発しませ、みんなの心をあたたかくしてくれました。一年生は、大きな声で元気よくカッパのげきを発表しました。一年生は、初めての、六年生は最後の学習発表会を、全力で発表し、お客さんに感動をとどけるというスローガンを達成できました。うれしかったです。

感動をとどけ

二年生は、大きな苦難をのりこえ前向きに生きる大切さを伝えました。三、四年生は

交流会を終えて広報委員会が作成した学校新聞

【まとめ】

・交流学習を行い、他校のみなさんに被災当時の地域の状況や、災害の備えについて伝えることができた。さらに、自分の考えや感謝の気持ちを学校新聞や個人新聞に書き、これからのまちづくりへの願いや自分の生き方を考える良い機会となった。

・『そなえる』の価値における取組として、他校と交流を図り情報の伝達を行った。心のケアの面から取組の内容の検討をしながらの実践であったが、児童が他校のみなさんに伝える目的をもつことで災害への備えについての大切さを考えることができた。